

広島市子供の読書活動推進のための取組（令和３年度以降） 数値目標及び重点施策の進捗状況

1 数値目標

図書館、学校等で「本を読むきっかけの提供」や「本を読むことの習慣化」に取り組み、自主的に読書をする子どもを増やします。

目標		令和３年度実績	推進状況 (令和４年度実績)	目標値 (目標年度：令和７年度)	推進状況評価
1か月に1冊以上読書する子どもの割合 ※1	小学校５年生	87.8%	91.1%	90.6%	新型コロナウイルス感染拡大防止の行動制限が第7波以降緩和されたことにより、実施状況は回復基調にある。 しかし、「広島県児童生徒学習意識等調査」によると、1か月に1冊も本を読まなかった理由として「読書より他にやりたいことがあったから」が令和３年度に引き続き4割以上を占めているほか、「本を読むのが嫌いだから」が増加傾向にあるため、今後より一層、小・中学校と図書館が連携して、多忙の中でも読書への関心を高める働きかけに取り組んでいく。
	中学校２年生	85.7%	89.0%	83.8%	
学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、読書をする子どもの割合 ※2	小学校６年生	77.7%	73.9%	83.7%	
	中学校３年生	67.2%	64.6%	70.8%	

※1 「基礎・基本」定着状況調査（広島県教育委員会実施）による数値。目標値は、過去４年間（平成28年度～令和元年度）の広島県全体の平均値とし、それ以上の達成を目指す。
令和３年より「広島県児童生徒学習意識等調査」となり、新たに「1冊より少ない」が選択肢に追加されたが、目標設定時の考え方と合わせた「読んでいない」を選択した児童生徒のみを除いた割合を進捗状況数値とする。

※2 全国学力・学習状況調査（文部科学省実施）による数値。

2 具体的な取り組み

ア 重点施策

基本方針	重点施策	実績		推進状況 (令和４年度実績)	目標値 (目標年度：令和５年度)	推進状況評価	担当課
		令和２年度	令和３年度				
家庭	幼稚園・保育園等における家庭での読み聞かせの促進【新】	実施園の割合 幼稚園 100% 保育園等 100%	実施園の割合 幼稚園 100% 保育園等 100%	実施園の割合 幼稚園 100% 保育園等 100% ●園だより等で絵本の紹介や読み聞かせの推奨を行う。 ●各保育園で絵本の貸出を行う。(57園 5,656人) ※絵本の貸出については、新型コロナウイルス感染症対策のため、27園が中止。	全ての幼稚園・保育園等で、家庭において親子での絵本の読み聞かせを促す。	・全ての幼稚園・保育園等で実施できており、引き続き取組を継続していく。 ・保育園等においては、絵本への関心が広がるよう、展示を工夫するとともに、園だより、クラスだより、ドキュメンテーション等で読み聞かせの大切さを伝えている。コロナ禍で中止していた貸出しを再開したことにより、親子で絵本を読む時間を持つきっかけとなったとの声があった。	指導第一課 保育企画課
地域	家庭読書アドバイザー ※3 の派遣による親子読書の推進	派遣回数9回 (家庭読書アドバイザー22名)	派遣回数11回 (家庭読書アドバイザー18名)	派遣回数23回 (家庭読書アドバイザー18名)	派遣回数35回	コロナ禍による自粛が緩和され、令和元年度の実績（22回）くらいまでは戻ってきた。	こども図書館 (生涯学習課)

基本方針	重点施策	実績		推進状況 (令和４年度実績)	目標値 (目標年度：令和５年度)	推進状況評価	担当課
		令和２年度	令和３年度				
地域	ソーシャルメディアを活用した啓発・広報の強化【新】	広島市のフェイスブック等を活用した、お薦め本の紹介 年間 １回 (R3.3.10～開始)	広島市のフェイスブック等を活用した、お薦め本の紹介 年間 ２３回	広島市のフェイスブック等を活用した、お薦め本の紹介 年間 ２４回	広島市のフェイスブック等を活用した、お薦め本の紹介 年間 １２回	コロナ禍による影響を受けにくい取組の為、積極的に実施することができ、目標値を大きく上回った。	中央図書館 (生涯学習課)
学校等	読書活動の全体計画・年間指導計画の活用・見直し	見直しをした学校の割合 小学校 １００％ 中学校 １００％ 高等学校 １００％	見直しをした学校の割合 小学校 １００％ 中学校 １００％ 高等学校 １００％	見直しをした学校の割合 小学校 １００％ 中学校 １００％ 高等学校 １００％	全ての小・中・高等学校で現計画を活用し、毎年見直しを行う。	全ての学校で見直しができており、取組を引き続き継続していく。	指導第一課 指導第二課
学校	本や資料を基に情報を活用する力を育てる指導の充実	様々な本や資料を基に自分の考えをもたせる指導をしている学校の割合 ※4 小学校 ー 中学校 ー	様々な本や資料を基に自分の考えをもたせる指導をしている学校の割合 小学校 ９６．５％ 中学校 ７９．７％	様々な本や資料を基に自分の考えをもたせる指導をしている学校の割合 小学校 ９３．６％ 中学校 ９５．４％	全ての小・中学校で様々な本や資料を基に自分の考えをもたせる指導を行う。	概ね実現できているが、一部、取組が推進できていない学校があるため、学校訪問や司書教諭及び学校図書館担当教諭研修会、校長会等で引き続き周知していく。	指導第一課 指導第二課
連携	図書館と学校・学校図書館の連携・協力 ※5	図書館と連携した活動を行っている学校の割合 小学校 ５４．９％ 中学校 ３．１％ 高等学校 １００％	図書館と連携した活動を行っている学校の割合 小学校 ６６．７％ 中学校 １２．５％ 高等学校 １００％	図書館と連携した活動を行っている学校の割合 小学校 ６８．８％ 中学校 ２５．０％ 高等学校 １００％	全ての小・中・高等学校で図書館と連携した活動を行う。	コロナ禍による自粛が緩和され、職場体験学習を実施する中学校が増えたことが、中学校における連携率の増加につながった。	中央図書館 こども図書館 指導第一課 指導第二課 (生涯学習課)

※3 参観日などの機会に幼稚園・保育園・認定こども園等に出向き、読書の意義や楽しさ等を保護者に伝えるボランティアのこと。
※4 「基礎・基本」定着状況調査学校質問紙調査（広島県教育委員会実施）による数値。 →令和２年度は新型コロナウイルス感染症対策のため調査中止となった。
※5 図書館訪問、職場体験学習、学校への蔵書・資料等の貸出や出前事業（おはなし会等）等のこと。

イ 新規

基本方針	新規	実績	推進状況 (令和４年度実績)	担当課
		令和３年度		
地域	小学生を対象とした「小学生おはなしクラブ」の実施	実施回数：８回（年１２回予定のところ４回中止） 参加人数：９７人（のべ人数。会員数：７０名）	実施回数：１２回 参加人数：２０８人（のべ人数。会員数：７０名）	こども図書館 (生涯学習課)
	高校生を対象とした「図書館高校生通信」の作成・配布	高校生を対象に図書館の利用案内や図書の紹介をする「図書館高校生通信」の作成・配布、ホームページで公開	高校生を対象に図書館の利用案内や図書の紹介をする「図書館高校生通信」の作成・配布、ホームページで公開	中央図書館 (生涯学習課)
学校	幼稚園への移動図書館車「ともはと号」の訪問	市立幼稚園８回	市立幼稚園６回	中央図書館 (生涯学習課)

ウ 拡充

基本方針	新規	実績	推進状況 (令和４年度実績)	担当課
		令和３年度		
地域	調べ学習のための資料の充実や貸出の推進、ホームページへの学年・単元に対応した図書リストの掲載等による教職員や学校司書への情報提供の充実	「調べ学習用資料コーナー」や「学校・ボランティア等支援図書セット」の資料について、新しい学習指導要領に沿ったものに更新。	こども図書館ホームページに「学年・単元別資料相談事例」の項目を増設し、授業で活用する資料へのアクセス機能の向上を図った。	中央図書館 こども図書館 (生涯学習課)